



ライバルは三人官女!? (詳細はP8)

# やすらぎ

題字：佐藤喜次さん筆（特養住民）

No. 51

2011 春号

平成23年3月25日発行

## 主な内容

ゆきあかり2011	P 2
節分豆まき	P 3
かたくりの園が事業所指定	P 4
高橋マツエさん永眠される	P 5
おすすめレシピコーナー	P 7

# 雪像制作に沢中生65名!!

西和賀町の冬の風物詩「雪あかり」。このイベントに合わせて、毎年沢内中学校の生徒の皆さんに雪像と灯ろうを制作してもらっており、今年も大勢の生徒さんたちに来園していただきました。



雪壁の高さがすごかった

2月8日晴れの日の午後、集まってくれたのは65名の生徒と先生方。玄関前で始まりの挨拶などをしてから、施設周辺の各ポイントに分かれて作業がスタートしました。晴れているとは言え寒さは

やはり真冬、外にいるとすぐに身体が冷えてきます。

その寒さにも負けず、県道までの道路や窓際の雪壁には数え切れないほどの灯ろうが作られ、また中庭に積まれた見上げるほどの雪山は「特大白うさぎ」に変身しました。制作中は絶えず笑い声が響き、窓の内側で眺めていた特養住民も楽しそうに見守っております。

## 2011

# ゆきあかり

## 今年も職員有志で 県道沿いにも制作

雪あかり当日の2月12日には、職員有志でぶなの園前の県道沿いにアート作品をつくりました。真っ白い大きな雪のキャンバスにカラースプレーで描かれたのは、人気アニメキャラクターの「ウサビッチ」。近所の小学生も喜んで手伝ってくれました。カラフルでインパクトのあるキャラたちが完成したころには、あたりは薄暗くなっており、太田街道の雪あかり作品の一つとして、ろうそくに灯がともされました。



完成した白うさぎの雪像



サイコーの仲間たち

キャラの横の灯ろうには「安全運転ぶなの園」という切り抜きも設置され、やさしいオレンジ色の文字が浮かび上がっております。



味わい深い作品となりました

## 節分豆まき

# 今年もかわいいお客様



元気に踊る新町保育所年長の子どもたち

今年の節分の特別ゲストは新町保育所年長組の8人。沖縄テイストのかわいい衣装で登場し、まずは踊りを二つ見せてくれました。食堂スペースで踊り終えたあと、今度は三丁目の会場へ移動して同じく踊りを披露。続けて4回も踊った子どもたちはもう汗だくの状態でしたが、恥ずかしがらず最後まで楽しそうに踊ってくれました。特養住民からは「あいや、めんこいごどお」という声の連発で

歓迎の意を表していました。メインの豆まきは、子どもたちが4人ずつに分かれ二会場で行進。手作りのお面を着けた鬼役の子どもたちに「鬼はそれお、福はうちい」と住民が豆を投げました。逃げ回る鬼やら、わざと近づいてぶつけられる鬼やら、賑やかな豆まきとなりました。豆まきが終わると一人ずつ自己紹介などをして、最後は握手で別れ。住民の歳を聞いてびっくり

## まるかぶり寿司にガブリ

豆まきと並び節分の習慣として定番となりつつあるのが「恵方巻き」。7種類の具材の入った太巻きを、縁起のよい方角を向きながら切らずに黙々と食べるのがよいとのこと。ぶなの園の2月3日の昼食メニューにも「まるかぶり寿司」として登場しました。さすがに切らずに食べてもらう訳にはいきませんでした。正しい食べ方を知ってか知らずか、無言でほおぼる方も多々。おいしくて、しゃべってる場合ではなかっただけだと思います。



小さな鬼たちが大はしゃぎ



握手をすると自然に笑顔がこぼれます

している表情がまたかわいかった。たくさん「福」をありがとうございました。

# 簡単においしく! おやつ クッキング

ある特養住民の方から「もちが食べたい」という声があり、それなら自分たちで調理して食べてもらってはどうか、ということで企画されたのが、2月14日の「おやつクッキング」です。

3丁目から5名の住民が参加して、作ったのは「白玉ぜんざい」。棒状の白玉を食べやすい大きさに切ってもらい、それを茹でて小豆しるこをかけたのであがり。簡単ですが見た目も味もなかなかでした。

また、つぎたてのもちに近づけるためにホットプレートで焼いてみたところ、これも好評。「醤油をつけて食べたい」というもち大好き菅原ツエさんも、大満足の笑顔を見せてくれました。調理する喜びが、一番のかくし味になったと思います。



みんなで楽しくクッキング



できあがりコレ!

## モデル事業所に指定 かたくりの園

北上警察署長、同署交通課長が2月1日に来園され、全席シートベルト着用モデル事業所としてかたくりの園が指定を受けました。

かたくりの園では指定を受ける前から、リフトバスを含めた全車4台の運転席・助手席はもちろん、後部座席同乗者にもシートベルトの着用を徹底し、習慣づけしてきました。今までは高速道路のみ後部座席のシートベルト着用が義務づけられていましたが、一般道路でも全ての座席にてシートベルト着用の義務づけになることや、予期せぬ交通事故に遭った場合、被害の防止、軽減に欠かせないものであることから、義務化の前に実施していたものです。

モデル事業は平成24年1月31日までの期間ですが、ベルト着用を基本とした安全・安心の心がけは、今後もずっと継続していきます。

### 指定書

社会福祉法人 やすらぎ会  
高齢者生活福祉センター  
かたくりの園 殿

貴事業所を平成24年1月31日まで「全座席シートベルト着用モデル事業所」に指定します。

平成23年2月1日

北上警察署長 昆 睦夫

北上地方交通安全協会 伊藤 寛

## ホームヘルプサービスだより

西和賀町社会福祉大会が2月19日に銀河ホールで行なわれ、やすらぎ会からも参加協力させていただきました。

参加したのは寸劇を取り入れたかたちの福祉サービスの実践発表。町内各事業所から発表者を選出し、寸劇やスクリーンの画像を交えながら楽しく、わかりやすく説明して、わが町の社会資源について理解を深めてもらおうとするものです。

やすらぎ会ではホームヘルプサービスの紹介を担当し、近藤富子ヘルパーが発表を行いました。何回かのリハーサルを経ての本番

### 西和賀町社会福祉大会



サービス紹介をする近藤ヘルパー

でしたが、初めての試みであることとの不安はすぐにどこかに吹き飛び、すべてがかみ合って最高の発表となりました。主催者はじめ関係スタッフの皆さん、本当にお疲れ様でした。

## どうぞ安らかに 高橋マツエさん 104歳の生涯とじる



健康を祝う集い  
昨年の「健康を祝う集い」で撮影した記念写真(右がマツエさん)

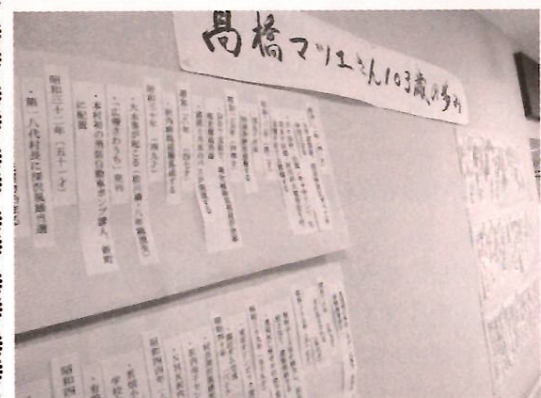
平成23年3月1日午後、104歳という長い長い生涯を生き抜いてきた高橋マツエさんが、ぶなの園で静かに息を引き取りました。ぶなの園に入所してからの約8年間、毎日のようにご家族等が会いに来てくださり、最期もいつものようにご家族に囲まれながら旅立たれたマツエさん。その表情は穏やかで、何も思い残すことなく安心して

に揭示してありますが、きつとマツエさんはその足跡をゆつくりと振り返り、かけがえのない人生だったことに満足してあのような表情を最期に見せてくれたのだと思います。

マツエさん、どうぞ安らかに

ているように見えました。勿論ぶなの園では最高齢。あまりに元気でとても100歳を超えているように見えます。103歳の秋に行なわれた文化祭では、マツエさんの生涯を年表にして紹介さ

せていただきました。現在も通路



マツエさんの生涯が記された年表

## 特養職員 内部研修

特養ぶなの園では、今年度から新たに接遇改善委員会を設けました。

接遇とは「人をもてなす」という意味があるそうです。「おもてなし」というと、まずお店や旅館などの接客業を思い浮かべますが、介護の現場も、まさに接客業と言えるのではないのでしょうか。

私たち委員は、今まで行なってきた住民との接し方や言葉遣いを見直し、よりよい接遇をめざして様々な活動をしてきました。先日実施したロールプレイングもその活動の一つで、普段の介護を振り返りながらみんなで意見交換をし、接遇を見直す目的で計画しました。ごこちない実演のあと参加職員からいろいろな意見が出され、利用者への自分の対応をより客観的に見つめなおすことができました。「よかれ」と思ってたって

## 利用者満足度を めざして



普段の介護を職員同士で実演

と、無意識に発している言葉が利用者にとって不快な思いをさせていることもあるかもしれません。そういった意味でもこのロールプレイングは、満足度向上につながる有効な手段だと思います。

今後このような内部研修により、職員全体のスキルを高めていくよう努めてまいります。

接遇改善委員 高橋栄子



いろんなワザができるようになりました

来年度は、職員に求められるものやタイムリーなものもテーマにした企画も検討しながら内部学習会を継続したいと考えております。

去る2月24日、在宅福祉課では町の出前講座を活用し「画像を使ってチラシをつくらう」というテーマで、パソコン教室を実施しました。

今年度、在宅福祉課では10回の内部学習会を実施しております。中には県社協の支援事業を活用したものやごく身近な方に講師をお願いしたこともありました。

### 情報発信！在宅サービス 興味あるものを楽しく学ぼう

## 在宅福祉課

### 吉田栄養士の おすすめレシピ コーナー



### おすすめメニュー その4 鶏むね肉としめじのカレー

今回ご紹介するレシピは2月7日のふなの園屋食メニューの一品です。いつもと一味違ったカレーを作ってみませんか？。材料を揃えるのも作り方もお手軽ですので、ぜひお試しください。

#### 材料 (4人分)

- 若鶏むね肉……70g
- かぼちゃ……30g
- 玉ねぎ……10g
- プルーン……10g
- ぶなしめじ……20g
- さやいんげん……5g
- にんにく……1かけ
- しょうが……少々
- ホールトマト……60g
- カレールー……20g
- 油……適量

#### 作り方

- ①鶏むね肉、かぼちゃは食べやすい大きさに切り、玉ねぎはスライスする。プルーンは小さく切り、しめじは小房に分ける。いんげんは1/2に切ってさつとゆでる。
- ②にんにくとしょうがはみじん切りにしておく。
- ③強火の鍋で油を熱し、にんにくとしょうがを炒める。
- ④玉ねぎを加えて油が回ったら鶏むね肉を入れ、火が通るまで炒める。
- ⑤プルーンとつぶしたホールトマト、かぼちゃ、しめじ、いんげんを入れて中火で煮込み、カレールーを加えて煮る。

はい、できあがり♡ (505kcal)



#### POINTはここ♡

かぼちゃは煮すぎないように。プルーンは、ふやかしてから湯通しすると柔らかくなりますよ。

#### アレンジしちゃおう♡

かぼちゃの代わりにアボガドを使ってもおいしいよ。

きのこは低カロリー、かぼちゃとプルーンでビタミン、ミネラルを摂りましょう！

# あしあと

## 法人の主な動き

- 12月
  - 1日 課長会議
  - 2日 住民インフルエンザ予防接種
  - 3日 特養第三者委員実態調査
  - 7日 出張理容
  - 9日 住民インフルエンザ予防接種
  - 13日 賞罰委員会
  - 16日 猿橋小学校もち米寄贈
  - 19日 特養家族懇談会
  - 20日 出張理容
  - 21日 評議員会
- 1月
  - 4日 特養新年交賀会
  - 5日 出張理容
  - 10日 出張理容
  - 15日 特養家族会新年会
  - 17日 課長会議
  - 21日 ホーム喫茶
  - 24日 職員親睦会新年会
  - 25日 在宅家族懇談会
  - 26日 内部監査
- 2月
  - 1日 課長会議
  - 3日 節分豆まき
  - 7日 ヘルパー車納車
  - 8日 雪像作り
  - 12日 雪あかり参加
  - 14日 おやつクッキング
  - 15日 ホーム喫茶
  - 16日 出張理容
  - 19日 社会福祉大会参加
  - 21日 入所検討委員会
  - 24日 理事会
  - 25日 感染症予防対策委員会

## 和賀川



理事長 高橋 一雄

柴田トヨさんの「くじけないで」は、何度読んでも感銘を覚える詩集である。薄化粧をしたつややかな顔、百歳を目前にしているとは思えない若々しさ。「齢をとると、しわ顔で見られないでしよう。だから必ず化粧するの」。人生、辛くて悲しいことばかりではない■朝起きるのは本当に辛いです。ヨイショと起きあがり、バターかジャムを塗ってパンと紅茶で朝食を摂る。そしてヘルパーさんからやつてもらった掃除や洗濯、買い物のリストづくり、さらには公共料金の支払いなど、家計や通院のスケジュールなどを考える■結構頭を使い忙しい。だから一人ぼっちで淋しくても、考えるようにしている■「人生いつでも、これから。誰にも朝はやってくる」。一人暮らし二十年のトヨさんの言葉に感銘。何と素晴らしい人生でしょう！。トヨさんのように生きたいものである。

□特別養護老人ホーム ぶなの園

□デイサービスセンター ぶなの園

□ホームヘルプステーション ぶなの園

□西和賀介護相談室

西和賀町沢内字太田2地割135番地

電話 0197-85-2322

FAX 0197-85-2317

Eメール bunanosono@swc-yasuragikai.or.jp

□高齢者生活福祉センターかたくりの園

西和賀町沢内字大野17地割140番地1

電話 0197-85-3388

FAX 0197-85-3389

(発行・編集)

社会福祉法人やすらぎ会

広報委員会

## 平成22年12月～23年2月

### 【ご寄贈】

- ・佐々木シヲ子様
- ・内記正時様
- ・板垣舜様
- ・有馬礎様
- ・沢内第一小学校様
- ・猿橋小学校様
- ・新町保育所様

### 【ボランティア等】

- ・どれみの会様
- ・鍵飯婦人会様
- ・泉沢婦人会様
- ・おはなしきらきら様
- ・長瀬野老人クラブ様
- ・川舟保育所様
- ・新町保育所様
- ・前郷ひまわり会様
- ・趣味の会様
- ・民謡同好会様
- ・幸の会様
- ・佐々木エリ子様
- ・高橋昭士様
- ・高橋和子様
- ・猿橋悦子様
- ・深澤ノリ様

あたたかい善意を頂戴し  
厚くお礼申しあげます

## 表紙の写真

ここ数年、ぶなの園ではひな壇を飾っていませんでしたが、やはりそれではさみしいと、介護職員を中心に久しぶりに食堂付近に設置しました。最近デパートでも見ることが少なくなった七段飾り、迫力が違います。その豪華さに負けない3人が、3月3日にひな壇の前で記念撮影をしました。後ろの人形たちが嫉妬してるかも。



3月11日の大地震で被害にあわれた皆様に対し、心よりお見舞い申し上げます。

また、ぶなの園にかけつけてくださった方々はじめ、ご支援ご協力くださった多くの皆様へ深く感謝申し上げます。

## 編集後記

別れと出会いの季節がやってきました。全国各地でいろんなドラマがあり、いろんな涙が溢れていることでしょう。共に学び、遊び、笑い、競った仲間たちとの別れ、そして自分が進もうとしている新しい道への期待と不安。卒業式の涙というのは特に美しく、感動的なものです。残念ながら自分も卒業式で泣いた経験はありませんが、あの頃あの場面に戻って、清らかな涙をこぼしてみたくることがたまにあります。

W・T